

2016年10月3日（月）

フジサンケイビジネスアイ

希少ワイン「Vマドロン」輸入 世界で唯一実現

生産数量が少なく、米国愛好家の間で「幻のワイン」と呼ばれているカリフォルニアの希少ワイン「Vマドロン」が、米国以外では日本でだけ飲める。実現させたのがTYクリエイションだ。2012年、生産者から世界で唯一、米国からの輸出を認められた。三谷聖一社長の「運が良かっただけ」という言葉には生産者、商品、消費者への深い敬意がにじむ。

——「Vマドロン」の日本への輸入実現は、ワイン好きの間で話題になった

「ワインの名産地として知られる米カリフォルニア州ナバーレーで生産されている。数量が年間200箱」と限られ、米国でもトップクラスのレストランか、限られた愛好家の間でしか流通していない。それを直接、オーナーと交渉し、現在、年間150から200箱を輸入している

——Vマドロンの魅力は



TYクリエイション 三谷 聖一社長

みたに・せいいち 上智大
外国语（現・国際教養）卒、
1991年、サントリー入社、パ
ドワイザー・ジャパン、ベル
ノ・リカール・ジャパン、L
VMHヴーグリコジャパン
営業本部長を経て、2005年T
Yクリエイションを設立し、
現職。49歳。東京都出身。

がVマドロンをどれだけ好き
か、どれだけ日本の消費者に届
けたいか、という思いを率直に
伝えた。それで気に入っていた
だけたのだろう。現在、ワイン
は100種類以上を扱っているが、
どれも自分が納得し、消費者に
自信をもって伝えられるもの
だ。ワイン以外でも、ドミニカ
共和国の特定の一つの区画から
されるシングルエステートコー
ヒー豆、『タベイコヒー』
を販売している

——以前は会社員だった

「ほぼ一貫してお酒関連の会
社で働いてきた。大卒後はサン
トリート。貿易部門に配属され米
アンハイザー・ブッシュの『バ
ドワイザー』を扱っていた。4
年後にキリンビールと合弁会社
を設立することになり、そちら
に転職した。その後、フランス
のベルノ・リカールでマーケテ

ィング、LVMHモエヘネシー
・ルイヴィトンでワインとシャ
ンパンの営業と、常にレベルの
高い仕事が与えられたのは運が
良かった。経緯があって今の会
社を設立してからも役立ってい
る。日本では、和食店にワイン
の入る余地がまだまだ多いなど
市場は有望だ。これからも消費
者の声に耳を傾け、ワインを広
げていきたい」

■会社概要

- ▷本社=東京都武蔵野市吉
祥寺本町2-10-12
- ▷設立=2005年1月
- ▷社員=12人
- ▷資本金=1000万円
- ▷売上高=約4億円
- ▷事業内容=ワイン、コー
ヒー、天然石などの輸入
販売業、エンターテイン
メント関連事業

「味わったとき、初めて納得するワインと出会った感動を覚えた。味わい深く、主張が強過ぎず、食事とともに味わえる。日本の消費者の好みにも合う」

——生産者のワインに対する想いも重要なと聞く

「もちろんだ。生産者であるティリーと夫妻のワインに対する敬度で真摯な姿勢は欠かせない魅力だ。ご夫妻は現地で荒廃したワイナリーを買い取ってか

ら、土壌、苗木、生育方法などを全てに妥協せずに造っている。使うブドウも100%自家生産するカベルネソーヴィニオンや、契約農家から購入したもの、平均樹齢90年以上の古木から取れるものなどで、その姿勢には敬意を払う以外にない」

——日本への輸出が認められた理由は

「運が良かっただけ。初めてご夫妻と面会したときに、自分